

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 わくわくクラブ エース（新松戸校）・放課後等デイサービス

公表日 2025年 2月 20日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・活動内容や人数でスペースを分けたりその都度工夫している	・引き続きスペースを最大限に活かして活動をおこなえるようにする
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・規定にプラスした人員配置や状況に応じて指導員の人数を増やす対応をしている	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・完全にバリアフリー化にはなっていない 小集団での使用など、用途に応じて工夫している	・完全なバリアフリー化にはなっていない ・段差等について改善の検討を続け 怪我が無いように配慮していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・清掃、消毒等をこまめに実施し清潔を心がけている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・児童の状況に応じて、クールダウンできるスペースを確保している	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・日々の支援の前後での打ち合わせと振り返り 月ごとの教室会議にて、情報共有や目標設定 改善点等を話し合っている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者からの意向や希望には真摯に向き合い 出来る限り迅速に対応している	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・必ず業務前の打ち合わせと振り返りの時間を 設けその中で意見を出し合っている ・大きな事柄については教室会議にて話し合っている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	・第三者による外部評価は行っていないが 同じ会社の他事業部の出入りや合同研修を行っている	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・資質向上のため、年間で計画を立てて 定期的に研修を行っている	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1		・年度内に支援プログラムの公表をおこなえるように準備中
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・児童の様子を観察しアセスメントを行い、 児童・保護者のニーズを反映させて支援計画書を作成している	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・毎月の会議にて児童の様子や課題について 意見を出し合い個別支援計画書の検討を行っている	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・意見を出し合い、確定した個々の支援計画書を 全員が必ず目を通して内容を把握した上で 支援をおこなっている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3	・標準化されたツールは用いていないものの 日々情報共有をおこなっている	・標準化されたアセスメントツールの 使用や導入を検討していく
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	・「地域支援・地域連携」について 具体的な支援内容や実施が不十分な面がある	・地域連携の部分がまだ弱い ため地域とのつながりを作っていくよう努める
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・定期的な会議で立案している	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・各担当が立案した内容を全体で見直している	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・児童の状況に応じた活動内容を工夫し適宜支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・もう少し増やしても良いと思う	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3		・必要に応じておこなえるよう体制を整えていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	4	・送迎を行っていないため直接学校とのやり取りはなく保護者や相談支援員を通しておこなっている	・児童の状況把握や連携の為に、学校との情報共有ができるようにする。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	5		・保護者を通しておこなっているが、状況共有に努めていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	6	・現在該当なし	・必要に応じておこなえるよう努めていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		・必要に応じておこなえるよう、連携を図っていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	・同じ会社で運営する高校の高校生にボランティアに来てもらっている	・どのような交流の形が可能か模索していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	・参加できるよう体制を整えていく	・情報を得るところからはじめ積極的に参加できるよう努める
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・共通認識に努めているが、共通理解には時間がかかることがある	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・相談等は随時アドバイスしている	・ペアレント・トレーニング等、家族支援プログラムの実施を検討していく ・市や発達センター等で企画される研修会や集まりの情報提供をしていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	・わくわくカフェ等の開催に向けて準備をしている ・きょうだい児同士の交流等の機会は設けられていない	・保護者同士の交流の機会を多く設けられるよう企画準備をしていく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・迅速に対応するよう心がけている ・お子さん、保護者の様子で気になることがあった時にはこちらから連絡をしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・会社既定に則り、十分に注意している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・個々に応じた対応を心がけている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		・地域の方向けの企画等を検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・一部策定や周知が不十分なものがあると思う	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・年間計画に基づき定期的に訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	・予防接種の情報は確認していない ・てんかん発作や服薬については確認しているが医師の診断書等の明確な確認はしていない	・服薬の種類や量の変更があった場合も、その都度共有が必要なことを周知徹底する
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・保護者の方を通じておこなっている ・確認の上必要に応じて指示書を確認させよう	・食物アレルギーで対応が必要な児童に関しては指示書を回収するようにする
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・活動計画の段階で、発達段階や状況に応じて安全に実施可能な内容が十分検討している ・予期せずヒヤリハットが起こった場合、再発防止に向けて環境整備や情報共有をしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・毎年必ず虐待防止の研修会を実施している	・定期定期に研修を行うと共に職員同士で対応をチェックし合っていく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・身体拘束適正化委員会を設定してその都度確認と情報共有をおこなっている ・実施の場合には保護者に十分に説明し了解を得る	・難しい問題だが、引き続き慎重に対応していく	